

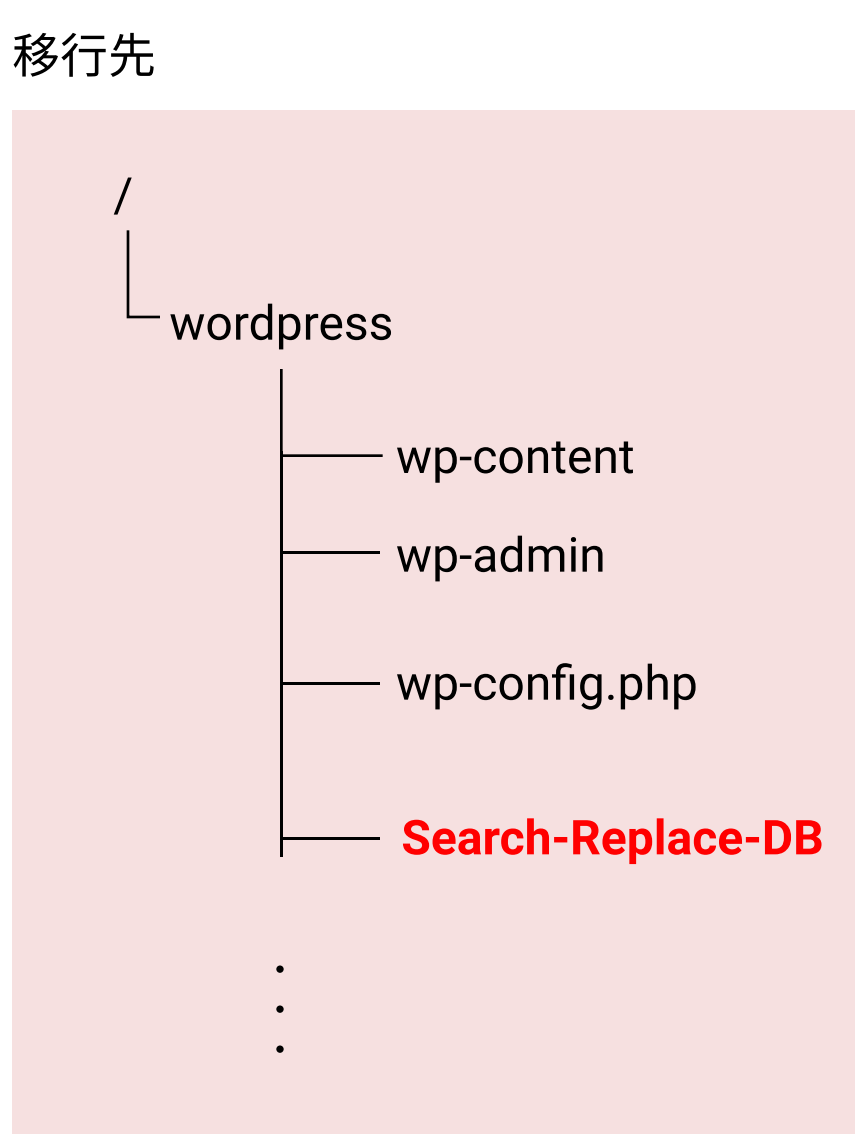
## 6. Search Replace DBで移行元のURLを移行先のURLに書き換える

以下のサイトを参考に、Search Replace DBのファイルをダウンロードし、移行先のサーバーにアップロードします。

▼参考

[https://www.webdesignleaves.com/pr/wp/wp\\_search\\_replace\\_db.html](https://www.webdesignleaves.com/pr/wp/wp_search_replace_db.html)

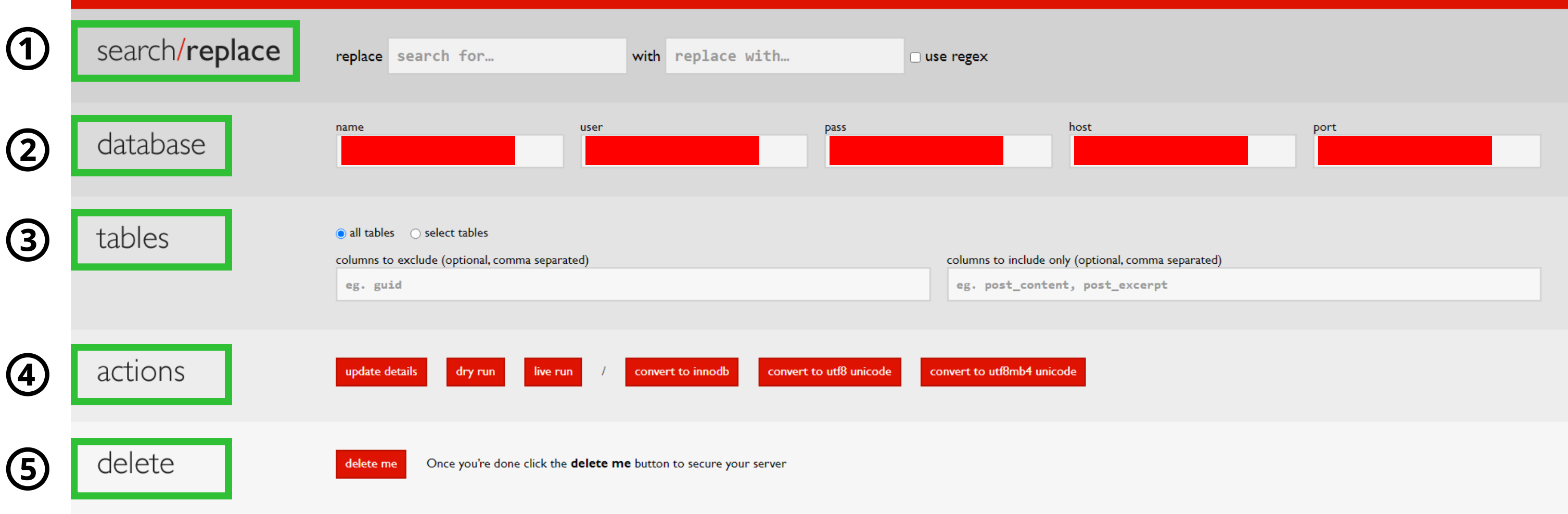
上記参考サイトにも書かれていますが、このファイルを置く場所は、wp-contentなどがある場所と同階層です。



設置できたら、ブラウザでURLを叩き、Search-Replace-DBにアクセスします。

例) `http://ドメイン名/Search-Replace-DB-master/`

すると、以下のような画面になります。各項目については以降で説明します。

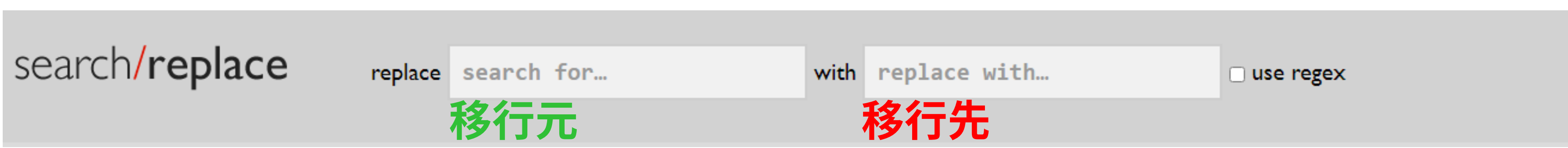


interconnect/it

SAFE SEARCH AND REPLACE ON DATABASE WITH  
SERIALIZED DATA V3.1.0

The developer/yasmin tool carries out search/replace functions on MySQL DBs and can handle  
serialized PHP Array and cURLs.

### ① search/replace



search/replace の「replace」には移行元 (検索・置換の対象) の URL (またはその一部) を入力し、「with」には移行先の URL (またはその一部) を入力します。

例えば、「`https://fuga.jp`」を「`https://fuga.jp/hogehoge`」に置換したい場合は、「replace」には「`fuga.jp`」を、「with」には「`fuga.jp/hogehoge`」を指定します。 (最後に/を付けないことに注意)

※※  
何を検索・置換対象とするかやプロトコル部分も含めるかなどはサイトの環境に応じて決定する必要があるかと思います。

例えば、単に `example.com` を `example.localhost` に置換する場合、E-mail アドレス `info@example.com` は `info@example.localhost` に置換されるので必要に応じて置換対象にプロトコル部分 (`http://` や `https://`) を含めるか、置換後に修正するなどが必要になります。・・・phpMyAdminから直接編集すればOKです

### ② database

「database」の部分はデータベースから自動的に取得してきてくれます。

※Search Replace DBのバージョンによっては、自動的に取得しないので、wp-config.phpを参照しながら自分で入力します  
おそらく「test connection」というボタンがあると思うので、それを押し、DBと接続できればOKです

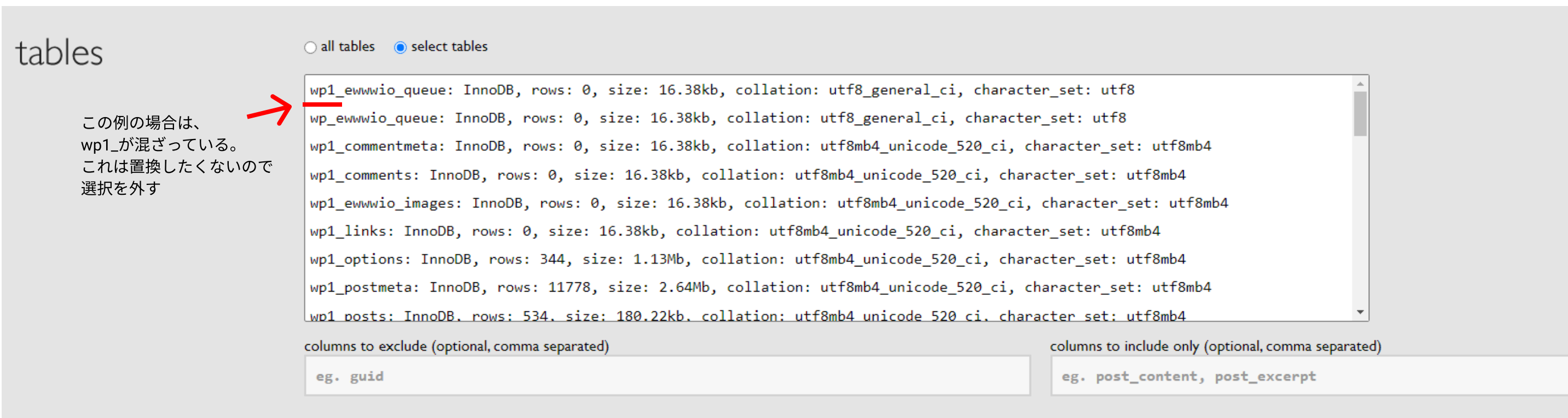
### ③ tables

「tables」の部分はデフォルトでは全てのテーブルを対象とする「all tables」が選択されています。

テーブルを限定する場合は「select tables」を選択して指定します。

下の例の場合、wp1\_とwp\_が混ざっています。

今回変更したいのは、wp\_のテーブルなので、これだけを選択します。



### ④ actions

actions にあるボタン「dry run」や「live run」を使って置換のシミュレーションや、実際に置換を実行します。

#### dry run

「dry run」では、実際の書き換え (置換) は行われず、どのように置換されるかを確認 (シミュレーション) することができるので、置換を実行する前に確認します。

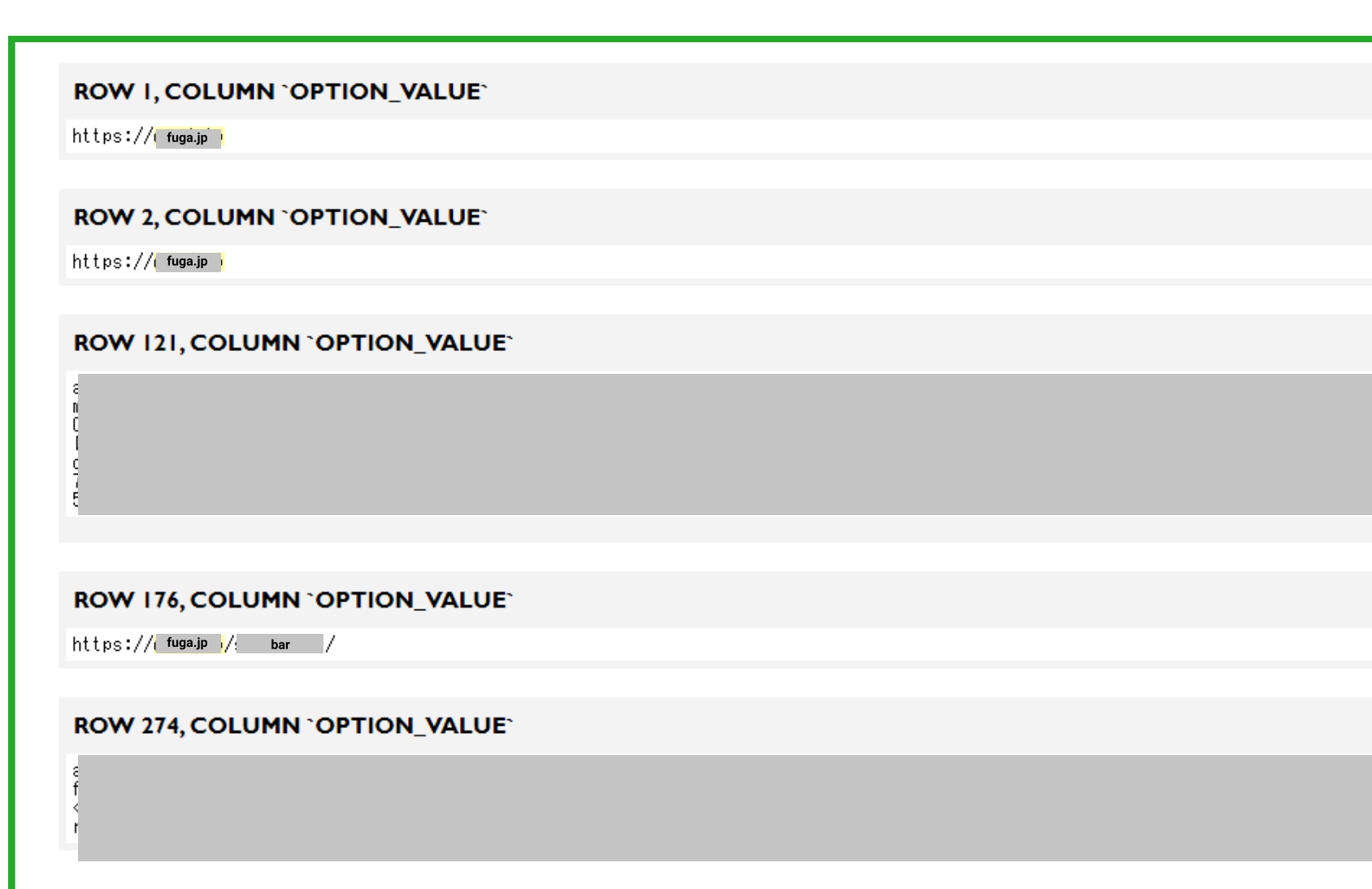
▼dry run を実行した後の様子



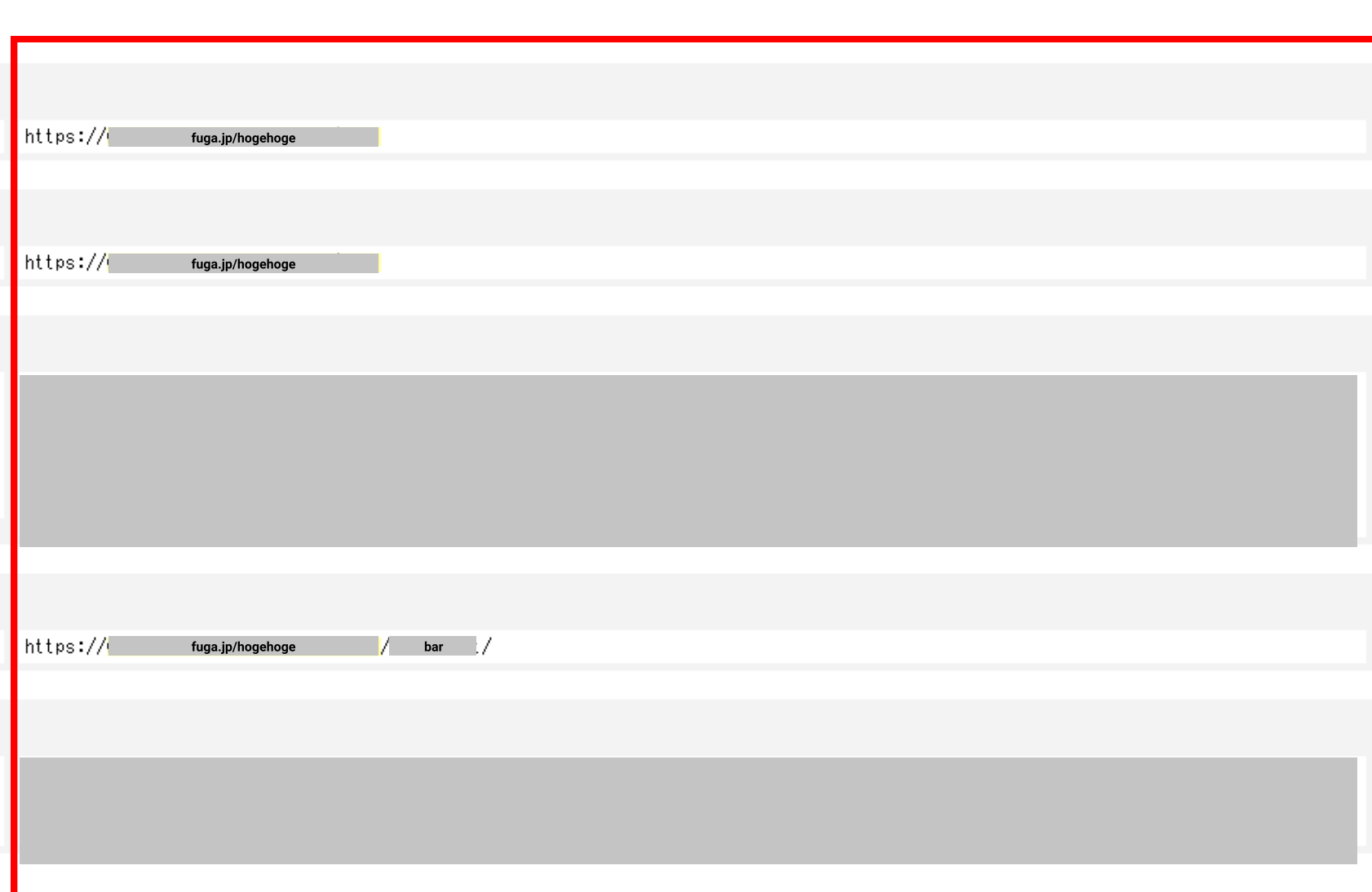
実行後、正しく置換されているか確認する。  
wp\_optionsを見てOKそうであれば問題ない。  
(右上の「× Close」をクリックすれば前の画面に戻る)

wp\_options Showing first 20 changes

× Close



置換前



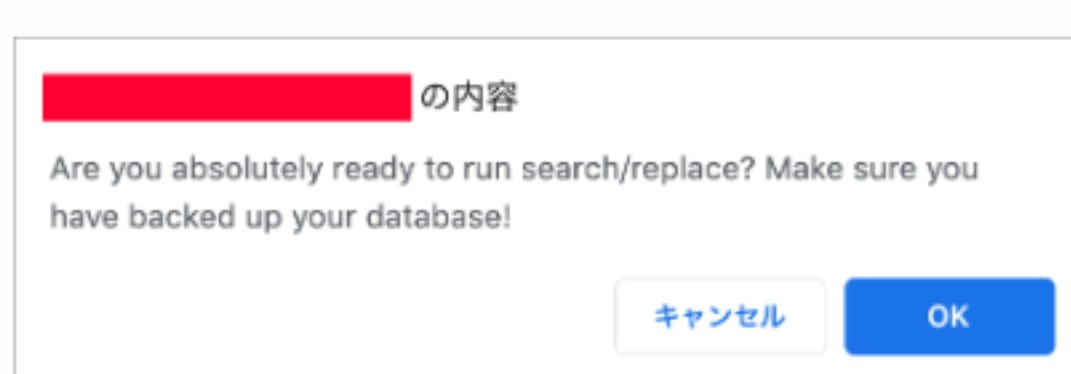
置換後

#### live run

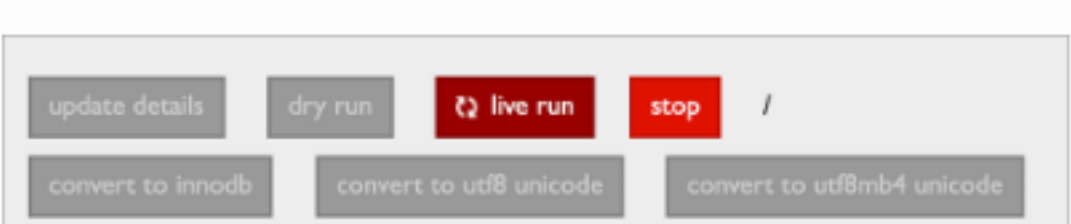
「dry run」で置換される内容を確認し、問題なければ「live run」をクリックして置換を実行します。

以下のようなアラートが表示されるので確認します。

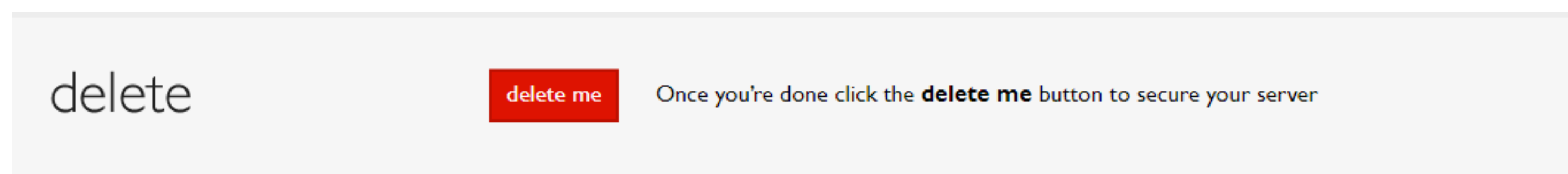
翻訳: 「本当に置換の実行の準備は整っていますか? データベースのバックアップを取ってください!」



問題がなければ「OK」をクリックすると置換が開始されます。



### ⑤ delete



しばらくすると置換が終了します。置換が正しく実行され、.htaccess や wp-config.php に問題がなければ、移行先のサイトの URL にアクセスして

サイトにアクセスされるはずです。

サイトにアクセスし、特に問題が生じていなければこのファイルをサーバーから削除しましょう。

「delete me」より削除を行った後、念のため本当に削除されたかURLを叩くなどして確認しましょう。

※このスクリプトがサーバー上に残っていると、「`http://ドメイン名/Search-Replace-DB-master/`」にアクセスすれば誰でもデータベースの書き換えができてしまうため大変危険です。必ず削除してください

これにて移行作業は終了です。

お疲れ様でした。

番外編では、SSH接続しか許さないAWSに移行する際の注意点を紹介します。